

岐阜県産のお米「ハツシモ」を

使用した『米粉入りドーナツ』が

4月末にデビューします！

多治見支所(可茂・多治見エリア委員
会)の「米粉入りドーナツ検討グループ」
と、宮田製菓(各務原)が共同で、『米粉
入りドーナツ』を開発しました。

生協では、食料自給率向上を目指した
取り組みをおこなっており、ちょうど多
治見支所の組合員さんが米粉に関心を
持たれているということで、岐阜県の代
表的なお米、「ハツシモ」を活用したドーナツの検討が始まりました。

検討段階では、米粉の特徴を持たせた
ドーナツにするのか、米粉が入っている
も普通に食感を楽しめるドーナツにする
のかを重点に検討しました。

ドーナツの形は食感のやわらかなク
ルータイプに決定、甘さについては、

総代会議での試食アンケート

- 甘さもほどよくさっぱりしてるのでたくさんたべられそう。
- 油っこさも軽くてうす味、かみごたえもあって軽食向き



1月18日には検討グループの組合員さんが、各務原市の宮田製菓の工場を見学しました。



「お母さんの思いは甘さひかえめ、子どもには物足りないのでは？」など話し合い、総代会議の場で総代さんに試食していただき、味、食感について8割の方に支持をいただき決定しました。

ハツシモの米粉は商品全体に約5%を使用して、お米をあまり感じない「おやつ」や「お茶うけ」に甘さを控えたドーナツができました。また、ぜひ米粉について知っていただきたいと商品名やパッケージに「米粉」をアピールしました。ぜひみなさんご利用ください。



17号商品案内デビュー
7個入り 298円

Report

商品安全検査センター

2010年理化学検査のまとめ

商品安全検査センターでは、生協商品の安全性を確認するため、微生物検査や理化学検査を実施しています。理化学検査では、測定機器などを用いて分析し、農薬や食品添加物が適正に使用されているか、などをみています。今回は2010年の理化学検査の概要を、主に残留農薬検査を中心にご報告します。

● 残留農薬検査

2010年は、農産物や加工食品など、520検体の残留農薬検査を実施しました。結果は、体に影響が出ない程度の微量での検出ではありますが、自主基準を超過するものが1件あり、原因究明と対策の検討を実施しています。それ以外のものは、すべて適合であり、全体での農薬検出率は34%となっています。

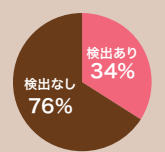
次に検出値の基準値に対する割合を見てみると、検出したものの94%の検体が基準値に対して10%以内の検出に収まりました。(のべ334種類の農薬を検出。その内315種類が基準に対して10%以下の濃度) 過去3年間もほぼ同様の結果であり、産地で適切な農薬使用がなされていると推察されます。(右のグラフ参照)

また、2010年には、GC/MS/MSという分析

機器(写真参照)を導入しました。この機器を用いる事により、加工食品などの検査がより精度良く分析でき、また、より多くの種類の農薬の検査が可能となります。今後もさらに生協商品の安全品質管理強化に努めて参ります。

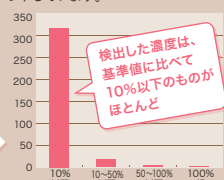


■ 2010年検出率



検出した農薬の濃度は、基準に対してどれくらい?

■ 検出値の基準値に対する割合
検出した農薬の濃度が、その農薬の基準の何%だったかを、のべ数でカウントしています。



【東海コープ商品安全検査センターとは…】

東海3県の3生協で東海コープを作り、商品を共同仕入しています。東海コープは、メーカーさんと農家さんと、書類で約束を交わします。その約束が守られているか点検するのが、商品安全検査センターの役割です。

例えば：
メーカーさん



約束
このウインナーは、
添加物を減らして
返そうね



東海コープ商品安全検査センター

添加物検査
めもとりで、不定期に実施

約束どおり
だね！

● 2010年理化学部門検査件数

2010年に行った理化学分野の検査数を示しました。商品安全検査センターでは2011年も様々な理化学検査を通して商品の品質の監視をしていきます。

理化学検査	2010年検査件数
残留農薬検査	520
食品添加物検査	380
遺伝子組み換え検査	49
動物用医薬品検査	99
重金属検査	31
卵の鮮度等検査	667
アレルギー検査	58
ヒスタミン検査・その他	14